

# COM

## Vol.35 / 2023

NISSEIは、人と車と街と、いい関係。



Front Line ■ 建築家インタビュー

# 平田 晃久

Arrangement ■ 納入事例

oak港南品川

複合施設「ハレミライ千日前」

東宝日比谷プロムナードビル

横浜コネクスクエア

Information ■ COMプレゼント

日精株式会社

# NISSEI

本社

〒105-8411 東京都港区西新橋一丁目18番17号(明産西新橋ビル)  
TEL.03-3502-9555~7(ダイヤルイン) FAX.03-3597-9548  
parking\_n@nissei.co.jp

大阪支店

〒541-0053 大阪市中央区本町四丁目4番24号(住友生命本町第2ビル)  
TEL.06-6244-9401(代表) FAX.06-6244-9408  
osaka\_n@nissei.co.jp

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西八丁目2番地(住友商事・フカミヤ大通ビル)  
TEL.011-231-8513(代表) FAX.011-231-8514  
sapporo\_n@nissei.co.jp

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目19番8号(栄ミナミ平和ビル)  
TEL.052-252-0360(代表) FAX.052-252-0365  
nagoya\_n@nissei.co.jp

日立支店

〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950番40号  
TEL.029-219-9931(代表) FAX.029-219-9932  
hitachi\_n@nissei.co.jp

山口支店

〒744-0004 山口県下松市青柳一丁目6番15号  
TEL.0833-43-6637(代表) FAX.0833-44-1945  
yamaguchi\_n@nissei.co.jp

福岡営業所

〒812-0038 福岡市博多区祇園町2番35号(プレスト博多祇園ビル3F)  
TEL.092-260-8571(代表) FAX.092-260-8573  
fukuoka\_n@nissei.co.jp



4名 Anker PowerCore III 5000mAh  
NISSEIオリジナルモバイルバッテリー



2名 Akihisa HIRATA Discovering New  
平田晃久建築作品集  
平田 晃久(著)



30名 QUOカード  
1,000円券



日精(株)ホームページ  
<https://www.nissei.co.jp/parking/>



## アンケートに答えてプレゼントを当てよう!

**応募方法** プレゼントの応募方法は、同封の「アンケート用紙」に必要事項をご記入のうえ、宛名欄に印字されているお客様番号をお忘れなくご記入いただきまして、はがき、またはFAXで、「日精(株)パーキングシステム事業部 営業本部」までご返送ください。厳正なる抽選のうえ、プレゼントの当選者を決定させていただきます。また、抽選に外れた方にも全員にQUOカード500円券をプレゼントさせていただきます。プレゼントご応募の締め切りは2023年7月末日まで。なお、プレゼント当選者の発表は当選されました賞品の発送をもちまして代えさせていただきます。

ホームページからも応募できます



[www.nissei.co.jp/parking/com](https://www.nissei.co.jp/parking/com)

ご回答の皆様  
全員にもれなく  
QUOカード  
500円券  
プレゼント



私はニュータウンといわれるような所で育ったのですが、ニュータウンだけではなく、いわゆる集落が入り込んでいるような場所で、野原とか森などいろいろな環境がある場所でした。そういう場所で虫を取りに行くのですが、虫を捕まえようとすると虫がどこにいたかわからないといけないわけです。ある程度虫の気持ちになって探さないといけないですね。この辺にいるんじゃないかということを想像するわけです。それが今考えたらある意味、自分にとっての一番最初の模型体験じゃないかと思っています。どういうことかという、虫のサイズは大抵人間の5分の1ぐらいになります。ということとは虫たちが草や木の枝の間にいるということを想像して、自分が50

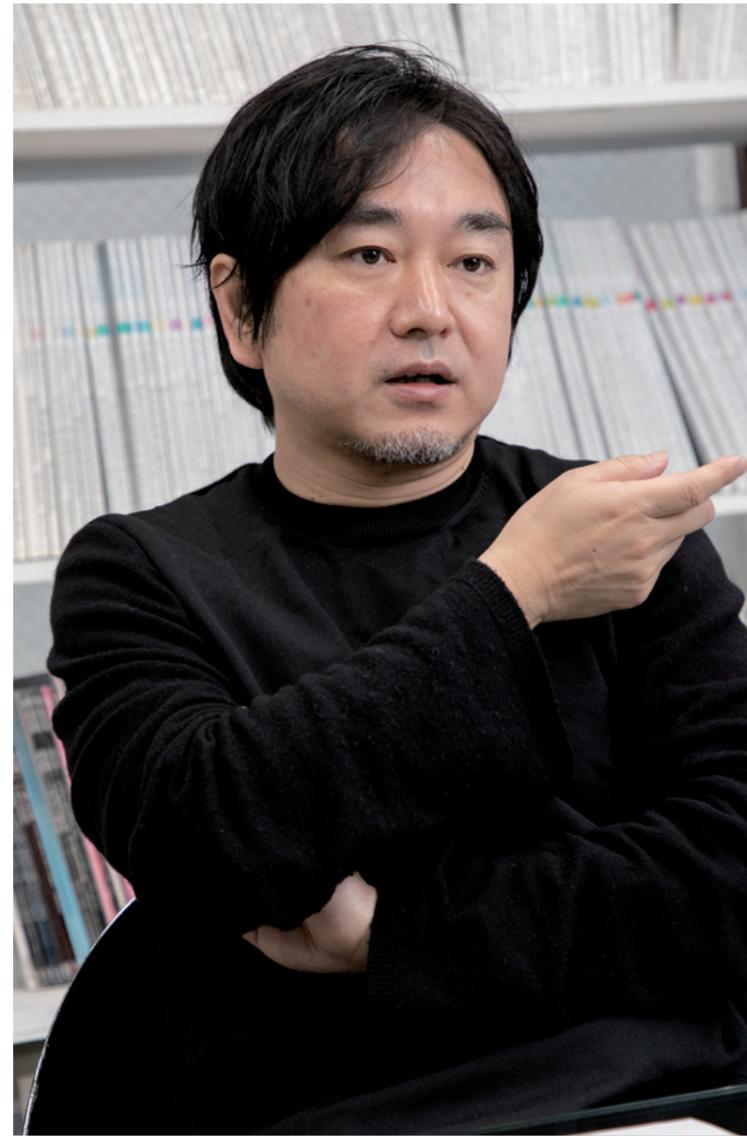
分の1の小ささになって環境を見ていく。いま学生に建築というのは外から眺めるだけではないと教えているんですけどもそういう意味では50分の1の模型の中に入る訓練というのはその頃していたのではないかと最近思うようになってきました。もともと私は科学者に対する憧れが大きくて、何かを発見するとか、それがその後の人類にとって重要なものになるとか、そういうことに憧れを持っていました。昆虫の事とか生き物の世界のメカニズムを解き明かせる仕事ができたら、ものすごく面白いだろうなと漠然と思っていた、建築学科に入る直前まで理学部の生物学科とか農学部とか、生物の研究をする学科を考えていました。ただし、ある時、考えた

の、数十年前に原子力や原子核の学科に入った人たちも、技術の問題とそれがどのように応用されるかという問題でわからないままそのコースに行く結構怖いものがあると考えました。そして、物のデザインを考えたり四角い空間ではないデザイン、近代建築ではないようなデザインの建築を作ることができるかもしれないと建築の世界に入りました。自然の持つ柔らかさというようなものをデザインしたいと考えていたので、建築は規則正しいデザインから学ぶというようなことがあるので、最初の頃は悩んだと言うかあまり出来の良い学生ではなかったですね。やりたい事はあるんだけどできないなど悩んでましたね。でも2年3年

とやって、なんとなくこんな感じにならないのかというような雰囲気、少し掴むことができて、そこから割と評価していただけになり、自分でも設計の道に行くのだろうなと思えるようになりました。大学院の先生は竹山聖さんと、その上に川崎清さんの二人の研究室でした。川崎先生は京都駅や関空のコンペの審査員を務めるような偉い先生で、竹山先生は大学に赴任したばかりのまだ40代はじめぐらいで、色んな雑

幼年期の昆虫採集が、最初の模型体験となる

人間だけを特別視することなく  
人も建築も生態系の一部として捉える



平田 晃久

Akihisa HIRATA

太田市美術館・図書館で、2022年の日本建築学会賞を受賞した平屋晃久氏の提唱する建築の概念「からまりしろ」とはなにか？

第一線で活躍する建築家との出会いが  
財産となった学生時代



CONTENTS

Front Line ■ 建築家インタビュー  
平田 晃久 2

Arrangement ■ 納入事例  
oak港南品川 8

Arrangement ■ 納入事例  
複合施設  
ハレミライ千日前 10

Arrangement ■ 納入事例  
東宝日比谷  
プロムナードビル 12

Arrangement ■ 納入事例  
横浜コネクトスクエア 14

Information ■ COMプレゼント 16

誌とかで活躍されていました。第一線でやられてる方が身近にいるという環境が自分にとっては大きかったですね。

また、一番最初に教わった建築家は2年生のときの高松伸さんでした。高松さんの発表されている文章は非常に難解で作品も独特なのですが、説明を聞くと明快で明晰な人だということが分かって、メディアではわからない部分を感じられるという、そういう経験をさせていただきました。こういうふうな建築家になりたいと言いかこういう人がいる世界なんだなということがを感じることでできて、すごくよかったです。いま、私も京都大学で教えているんですけども、建築家として設計することだけを考えると負担でしかないのですけれど、そういう人がいて自分も今があるというおもしろいもあって、大学で教えています。

伊東事務所で体験した、世界で勝つということ

大学の時は京都だったので、東京の時間の流れ方ってだいぶ違って、伊東豊雄さんの事務所に入ってびっくりしました。どんどん動いていくので、



太田市美術館・図書館 ©Daiei Anō

まったくついていけなくて霧の中をさまようように2年ぐらいは過ごしていました。最初はそんな風に役に立たなかったんですか、アルミ構造の住宅というのを担当していて、その住宅が3年ぐらいかかったのです。アルミ構造はまだ認められていなかったもので、実験もしなければいけないので、長い時間がかかりました。アルミ構造推進協議会という、メーカーがいっぱい集まって作っている団体の各社さんの協力のもと作っていたのですけれども、その人たちとコラボレーションするんです。普段、事務所にいると接することのない人たちとの共同作業をすることで、何かを作り上げることは結構楽しかったですね。

あと、伊東さんがアルミ構造だけの建築の展示会をするというので、いくつか案を出したんですけども、わりと主担当をして、さらに2年担当したのですが、2002年にパビリオンができて、5年かかりました。それまで全部アルミのプロジェクトで、このまま辞めるわけにはいかないと思って、トッズ表



榎屋本店 Photo: Nacasa & Partners

参道というイタリアの靴のブランドの旗艦店なのですが、それをやって辞めたのですが、その間にいろんなコンペをやらせていただいて、伊東さんが仙台メディアテークと言う意味を持つような建物をやられた後で、仙台後の新しい展開をどう考えていくかということで、伊東さんの下で考える機会を得ることができたのが、ものすごく大きなことでした。いくつかのコンペティションにも勝つことができ、世界の大きな流れの中で勝つということはどういったことなのか、そういうことが実感できたのが良かったです。

「からまりしろ」を自身の建築のコンセプトに

独立後一番最初の作品は新潟県の榎屋本店という農機具メーカーのショールームです。伊東先生の事務所時代、トツツというお店を担当して、その中で面白いなお店だったのは成功されているお店のオーナーの方たちが、みんな共通して言っていることが、人間を人間



Tree-ness House ©Vincent Hecht

としてというよりは、動物的本能を持った存在として、この場所をこういう風に動かすか、影になっている場所があればその後ろを見たいとか、直感的な見方をされているんですね。そして、現代建築がそういうことを考えてこなかったのではということから、動物的本能を持った人間というものに向けての建築を作りたいなと思ったのです。お店って全部見えてると興味を失うので、少し動く違うものが見えていくという世界を作りたいと5mゲリッドで壁を立て、それを斜めにカットしていくという、幻想的な感じになっていきます。立体的で形は直線的ですが体験としては曲線的な動きを感じることのできる場所を作るというのが自分にとって一番最初のプロジェクトになりました。

その後、東京の大塚に「Tree-ness House」という、住宅とギャラリーの複合ビルですが、これは一本の木みたいなものを建築で作れないかということも考えたものですけれども、コンクリートの箱を積んで大ま

かな構造体を作って、そこに窓を作るんですけども、窓がひだ状の出窓みたいになっていて、その窓に植物をからめるという3段階できているのです。これは、「からまりしろ」という言葉を自分の建築のコンセプトとして使っているのですけれども、何かからまる「しろ」、つまり余地ということですけども、生物ではないものも含めた、自然の有機的な広がりの中に人間がいるというふうに、建築というものを、もうちょっと大きな概念の中に捉え直すことができないかという試みです。例えば海底にデコボコとした岩があって、そこに海藻がからまっている、その上に魚の卵がからまっているとします。魚の卵にとって海藻はからまりしろ、海藻にとって海底にあ

る岩はからまりしろであり、ある種のインフラストラクチャーみたいなになっているということですね。そのように捉えると建築も自然界の色んなものも、世界の一部になるのですよね。この建物は魚の卵と海藻、海底の岩をそのまま建築にしたものなんですけれども、コンクリートの箱が海底の岩、ひだ状の出窓が海藻で、植物が魚の卵という感じ。それぞれ別のところから来たものがたまたま出会って、有機的に組み合わせられているという仮説です。イメージ的にはちようちよが花の間を飛んでいるという二次元的な空間です。幅6mぐらいの細長い敷地ですけども、小さいながらもモデルとして示せたので、自分にとっては大きな意味のある建物だと思っています。

美術館・図書館の設計に街の人たちを巻き込む

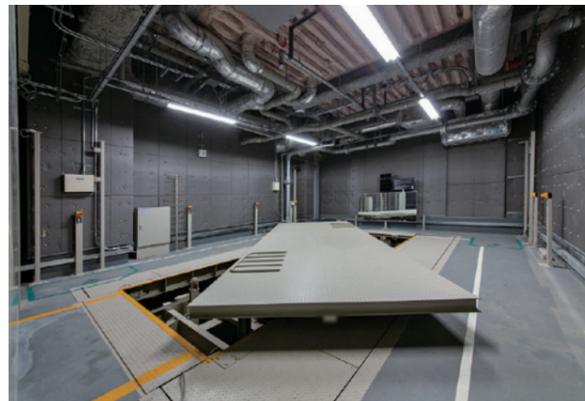
あと、太田市美術館・図書館という建物がありまして、これは群馬県太田市にできた駅前にある施設なのですけれども、この太田市はスバルの企業城下町で、人口22万人で税収もあって潤っているはずなんですけれども、駅前には誰

も歩いていない。みんな車に乗って郊外のショッピングモールに行っている。それで駅前がほとんど死んでいく。これはもう街の人たちはみんなまがいなと思っていて、街の中心部に人が集まるきっかけを考えていました。

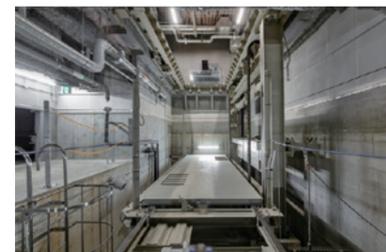
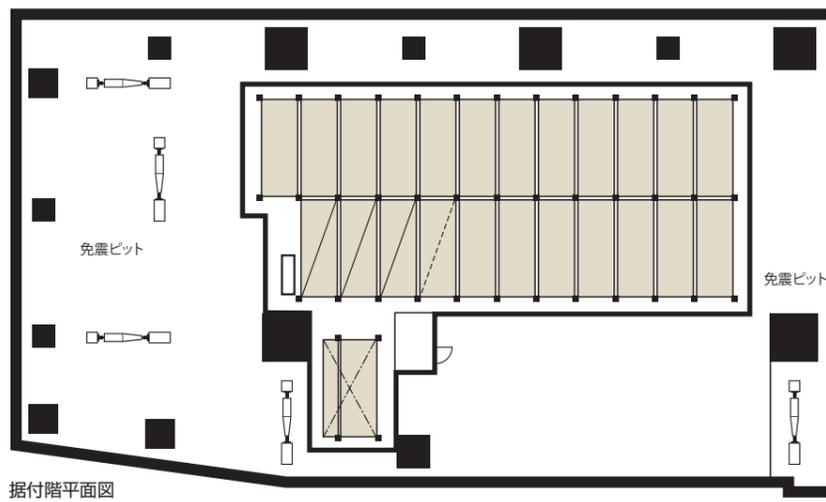
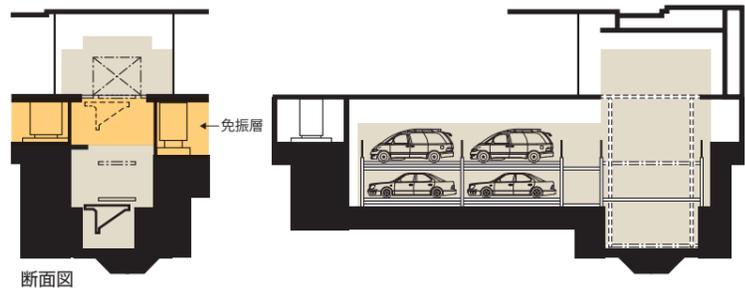




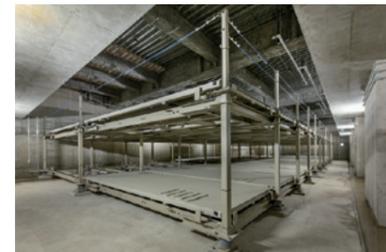
乗降室(スクエアリフト4本柱・180度トレー旋回・免振対応)



トレー旋回時(180度旋回)



リフト(免振層下待機)



格納部(側面)



自動車位置案内灯 全灯点灯(前進・停止・後退)

**車中からリモコンで、車とトレーの呼び出しが可能に！**

オフィスフロア同様、免震構造を持つ地下駐車場には、日精の水平循環方式「フレキシブルパーク」が採用されています。変則的な敷地の形状でも自由に設計できる利点を活かし、2層で40台を収納。2層目はSUV車やミニバン、ワンボックスカーも駐車することができるハイリフト対応です。

そして、同ビル駐車場の最大の注目点は、リモコンで出入庫操作ができること。リモコンを持つドライバーは、車を降りることなく、乗降室まで進む

ことができます。もちろん、車の呼び出しもリモコンの操作一つ。車の出し入れ時に発生する待機ストレスが一旦に解消されました。

「フレキシブルパーク」は、乗降空間のバリアフリー化をはじめ、電気自動車の対応や自動二輪車の収納など、最新のオフィスビルには必要とされる先進性も対応可能です。先端技術とノウハウを持つ日精の「フレキシブルパーク」だからこそ達成できた駐車場空間と言えます。

昨年7月、天王洲運河をまたぐ東京都道316号日本橋芝浦大森線沿いのウォーターフロントエリアに、oak港南品川は竣工しました。品川といえば、歌川広重の浮世絵にも描かれているように、江戸時代には船溜まりとして栄えた地域。こうした歴史的地域特性を反映してデザインされたビルは、四角帆をイメージさせるPcA板ユニットを、リズムカルなパターン配置をすることで圧迫感を軽減したファザードです。また、1フロア約326坪の無柱空間も、江戸の運河に浮かんでいた和船から学んだ外殻構造を採用したことで生まれました。高い天井と大きな窓面、柱間3、6mが明るく開放的なオフィスを創出しています。

さらに、同ビルはSグレードの耐震性能を実現した免震構造であり、非常時には専有部に72時間10VA/m<sup>2</sup>の電力を供給するなどのBCPにも対応。PcAフレームには給排気、自然



oak港南品川 外観

換気といった設備システムが組み込まれており、自然換気が可能で、LED照明には明るさセンサーを採用するなど、高い安全性を確保しつつ、快適性をも備えた超高性能オフィスビルでもあります。



操作盤 焼付塗装 オプション仕様



オートドア開閉時

- 【建築概要・規模】**
- 建築主 / 大林新星和不動産株式会社
  - 敷地面積 / 2,635.57㎡
  - 延床面積 / 16,331.64㎡
  - 構造規模 / 地上12階、地下1階
  - 設計 / 株式会社大林組一級建築士事務所
  - 施工 / 株式会社大林組
- 【駐車設備概要】**
- 機種 / フレキシブルパーク(水平循環方式)
  - 型式 / FLX1LSRH2-40(7)FDHT-BM
  - 収容車サイズ / 全長5,300mm×全幅1,950mm×全高1,550/2,050mm×重量2,500kg
  - 収容台数 / 大型車20台 ハイリフト車20台 計40台

oak 港南品川

**大型和船を想起させる、江戸と現代が融合したオフィスビル**

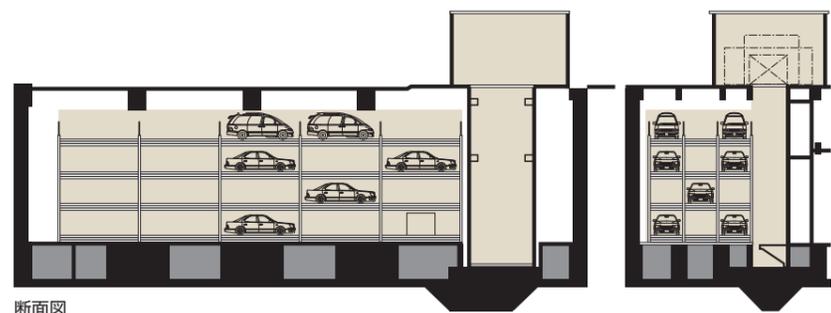


乗降室(フォークリフト2本柱 180度トロー巡回)

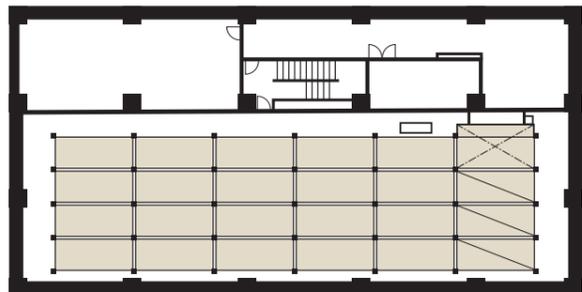
空き店舗が目立つ商店街にはコインパーキングなどは存在しましたが、都心にある、レジデンスと文化施設を備えた、政令指定都市岡山市を代表する施設には、景観、駐車専用スペースという観点から、大型の地下駐車場は必要不可欠でした。また、その駐車場は大型車への対応も必須。そこで採用されたのが、意匠性を創出できる日精の水平循環方式「フレキシブルパーク」でした。「フレキシブルパーク」の直感的な操作性も、不特定多数の人が操作する



格納部(リフト部周辺)



断面図



据付階平面図



操作盤



格納部(側面)



格納部(奥側正面)

## 81台を収容。 大容量の機械式地下駐車場

可能性がある場所には最適です。さらに、日精独自のルート解析システムで、4層に収納された81台の車は、安全性を確保しつつ、スピーディな車の取り出しを実現。地域を代表する大型複合施設を、日精の先端技術とノウハウがしっかりと支えています。

## 複合施設「ハレミライ千日前」

### 文化芸術施設の誘致で、 かつての賑わいを取り戻す

大小を問わず地方都市が抱える中心地の空洞化問題。岡山市の千日前地区も、以前は岡山を代表する娯楽街でしたが、近年は空き店舗や老朽化した

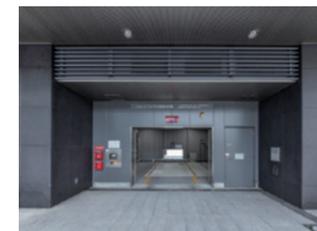


複合施設「ハレミライ千日前」

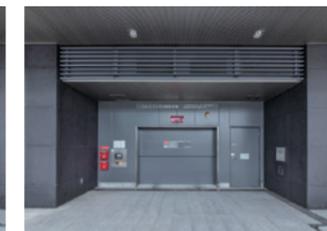
建物が増え、人通りが減少し、よくあるシャッター街といった状況でした。そこで誘致されたのが、新しい文化芸術施設です。計画から10年、約3年の工事期間を経て、複合施設「ハレミライ千日前」として2023年3月に竣工。地下2階、地上20階、延べ床面積39、406㎡のこの施設には、中四国で唯一3つの劇場を備えた文化芸術施設「ハレノワ」のほか、8〜20階には中間免震構造(5階下部)、内廊下、全住戸オール電化を採用したレジデンス84戸、アートギャラリーやアートサロン、オフィス、カフェなどの店舗が入居の予定です。今年9月の「ハレノワ」グランドオープンの向け、岡山市内ではイベントの開催や商店街の空き店舗を利用した交流スペースの設置などが行われています。そのため、県内外からの関心度も上昇しており、今後はさらに、注目が集まる施設になると言えます。



駐車場前面



オートドア閉鎖時



文化芸術施設「ハレノワ」外観

- 【建築概要・規模】 ■ 建築主 / 岡山市表町3丁目10番11番23番24番地区市街地再開発組合  
 ■ 敷地面積 / 8,858.44㎡  
 ■ 延床面積 / 約39,406㎡(全体)、19,633.13㎡(劇場)  
 ■ 構造規模 / 地上20階、地下2階  
 ■ 設計 / 竹中工務店  
 ■ 施工 / 竹中工務店・荒木組・小倉組JV
- 【駐車設備概要】 ■ 機種 / フレキシブルパーク(水平循環方式)  
 ■ 型式 / FLX1LSWRH4-81(12)FDHT-B  
 ■ 収容車サイズ / 全長5,300mm×全幅2,050mm×全高1,750/2,000mm×重量2,500kg  
 ■ 収容台数 / 81台



庫内 トレー回転時



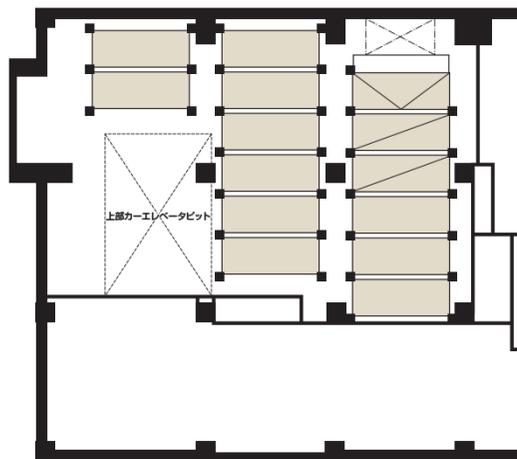
リフト部(フォークリフト2本柱)



最上層(リフト部より奥側)

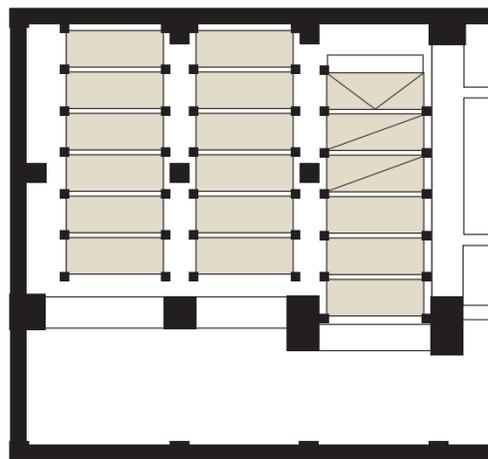


中間層奥側(上部カーエレベータピット)



据付階平面図

〈最上層トレー配置〉



〈最下層・中間層トレー配置〉

## 都心に求められる機能を備えた地下駐車場

この建物が建つのは、晴海通りと、大手町をはじめ日本を代表するビジネス街を抜ける日比谷通りが交差する地域。ビルの前には日比谷の中心、日比谷通りがあります。地下駐車場の入り口は、となりの「東京ミッドタウン日比谷」を隔てる区道沿いに向かっていきます。今回は、限られた空間に対して、乗用車に加えて荷捌き用車両駐車スペース3台分を確保するため、荷捌き用駐車スペースを1階に1台、カーエレベータでB1階に移動した先に2台

と機械駐車乗降室を設置する計画となりました。そこで採用されたのが、これまでも様々な建築条件に最適な設計レイアウトで対応してきた日精の「フレキシブルパーク」。自由度の高いコンパクトなレイアウトが可能のため、3層内の最上層にカーエレベータピットを避けたトレーを配置することができ、収容力とスピーディーな機動性を損なうことなく、効率的に収容台数を確保しています。乗降室もフラットなバリアフリー対応で、車イスでも快適に利用できます。「フレキシブルパーク」は、まさに日本の中心地にあるビルには必要不可欠な設備と言えるでしょう。

長年、日比谷の玄関口として親しまれてきた「東宝ツインタワービル」の跡地に、新しいオフィス・商業の複合ビルが、今年3月に開業しました。新ビルの名称は「東宝日比谷プロムナードビル」。「プロムナード」とは、「散策」や「散歩道」という意味があるそうで、「新たな出会いや発見に触れ、豊かで上質な時間を過ごしてほしいという想い」が込められているのだそうです。

高層階のオフィスフロアからは、皇居外苑や日比谷公園という開放的で緑豊かな眺望を望めます。また、昨今の働き方改革やSDGsの観点から、BCP機能や省エネ性能に加えて、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター(I BECS)による「CASBEE スマートウェルネスオフィス認証」の最高評価Sランクを取得しています。

また、低層階の商業ゾーンは、「東宝ツインタワービル」でも人気だった「LACOSTE 日比谷店」をはじめ、

ドイツの家電ブランド「Miele Experience Center 日比谷」、世界で初めて紅茶にローズをフレーバーとして使用したNINA,S など上質なフレーバーティーを提供する紅茶専門店の「LE SALON DE NINA,S」など、世界で注目されるブランドや店舗11店が入居。

地下鉄「日比谷駅」に直結した地下2階から地上2階までの商業、パブリックフロアは、「東京ミッドタウン日比谷」をはじめ、近隣の施設と共生しながら、新しい日比谷という空間を創出しています。



東宝日比谷プロムナードビル 外観



機械駐車  
オートドア開時



B1F駐車場(左:機械駐車 右:カーエレベータ)



1F駐車場入り口(カーエレベータ)

【建築概要・規模】	■ 建築主 / 東宝株式会社
	■ 敷地面積 / 1,492㎡
	■ 延床面積 / 16,693㎡
	■ 構造規模 / 地上11階、地下2階、塔屋1階
	■ 設計 / (株)竹中工務店
	■ 施工 / (株)竹中工務店
【駐車設備概要】	■ 機種 / フレキシブルパーク(水平循環方式)
	■ 型式 / FLX1LSRH3-42(5)FDHT-BN1
	■ 収容車サイズ / 全長5,300mm×全幅1,950mm×全高1,550/2,000mm×重量2,500kg
	■ 収容台数 / 大型車31台 ハイルクール車11台 計42台

## 東宝日比谷プロムナードビル

### 日本を代表するビジネス街と世界有数の商業地を結ぶ「散歩道」に建つ複合ビル



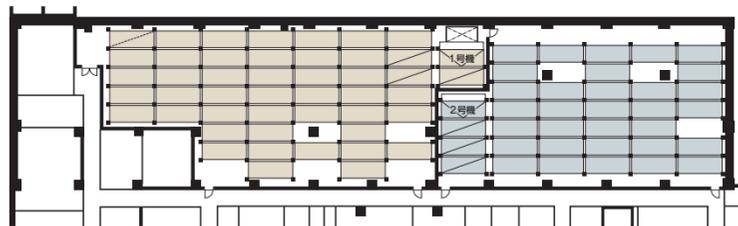
1号機奥側からリフト方向(最上段トレー配置無)



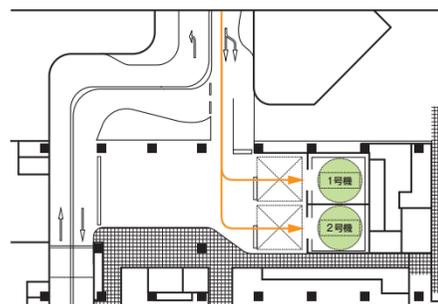
1号機 中間層側面



1号機 最下層端部よりリフト方向(上部配管 泡消火配管)



据付階平面図



乗込階平面図

### 最新の超高層複合ビルに求められる地下駐車場

先進的な景観と充実したインフラを備えた「みなとみらい21」地区では、地下駐車場は必須といえる施設です。「横浜コネクストスクエア」の地下駐車場の収容台数は全部で226台、2基のフレキシブルパークが採用されています。乗降室のスペースは広く、車イスでも安全で快適に利用できます。さらに、機械駐車設備区画の消火設備には泡消火設備が採用され、機械駐車設備も泡消火設備に対応した仕様となっています。

日々、多くの人が利用するものだから、快適性や操作性は当然のことながら、レイアウトの自由度と各種設備との連携が求められ対応した事例です。

機械式駐車設備 ● 納入事例

### 横浜コネクストスクエア

### みなとみらい21に新たに誕生した複合ビルは街と未来をコネクトする架け橋

2023年、相鉄・東急直通線の開業で、東京都北部と直接アクセスが実現した横浜市。そのビジネス的中心のひとつ、みなとみらい21地区で2023年に開業が予定されているビルの一つが「横浜コネクストスクエア」です。高層階には、「三井ガーデンホテル横浜みなとみらいプレイミア」が入居する超高層複合ビル。パナソニックホームズ、鹿島建設、ケネディクスとの3社が共同で設立した合同会社KRF48が手掛けた物件です。

ア。近くには、横浜美術館、びあアリーナMM、ウエスティンホテル横浜、MARK IS みなとみらい、神奈川県庁などがあり、ビジネス、観光と注目を集めるエリアにおいて、中心の一つとなる重要な建物です。

みなとみらい駅からの動線や桜木町駅からのペDESTリアンデッキ、敷地の四角の広場を介して人々が集い、つながりが生まれ、新たな未来への懸け橋となるよう名付けられた「横浜コネクストスクエア」



横浜コネクストスクエア 外観



1号機 乗降室



1号機 オートドア開時



1号機 オートドア閉時

<p><b>【建築概要・規模】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■建築主/合同会社 KRF48</li> <li>■敷地面積 / 10,082.20㎡ (実測)</li> <li>■延床面積 / 121,726.85㎡</li> <li>■構造規模 / 地上28階、地下1階、塔屋1階</li> <li>■設計 / 鹿島建設株式会社一級建築士事務所</li> <li>■施工 / 鹿島・フジタ・馬淵・大洋建設工事共同企業体</li> </ul>	<p><b>【駐車設備概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■機種 / フレキシブルパーク(水平循環方式)</li> <li>■型式 / 1号機: FLX1LSRH3-129(9)FDHT-BS 2号機: FLX1LSRH3-97(9)FDHT-BS</li> <li>■収容車サイズ / 全長5,300mm×全幅1,950mm×全高1,550/2,000mm×重量2,500kg</li> <li>■収容台数 / 1号機: 大型車44台 ハイルーブ車85台 計129台 2号機: 大型車33台 ハイルーブ車64台 計97台</li> </ul>
---	---

**COM**  
NISSEI PARKING SYSTEMS

発行日: 2023年5月31日  
 通刊第35号  
 発行: 日精株式会社  
 パーキングシステム事業部  
 〒105-8411 東京都港区西新橋1-18-17  
 明産西新橋ビル  
 TEL. 03-3502-9555~7(ダイヤルイン)  
 本誌掲載の写真・記事の無断転載および複製を禁じます。

**編集後記**

日頃より「COM」をご愛読いただきまして、ありがとうございます。編集スタッフ一同、心から感謝申し上げます。

今号の建築家インタビューでは、2022年日本建築学会賞を受賞された平田晃久先生にお話を伺いました。人間だけを特別視することなく、人も建築も生態系の一部として捉える平田氏の独特な世界観をご紹介できたかと思えます。

皆様の日々のお仕事の中で何かのヒントになれば幸いです。

日精はこれからも皆様に満足いただける駐車設備を提案してまいりますと存じます。

今後とも何卒変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、取材に当たり、ご協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。